道

2025 令和7年 福岡県の道路

福岡県 県土整備部 道路建設課・道路維持課

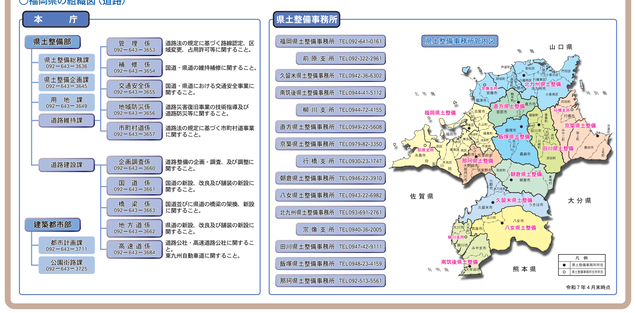
道 路行政機関

○道路管理者

管理者	管理する道路	備考
国土交通省	指定区間の国道	一般国道2号、3号、10号、201号、202号、208号、209号、210号及び497号
福岡県	指定区間外かつ政令指定都市外の国道及び政令指定都市外の県道	一般国道200号、211号、264号、322号、385号、386号、442号、443号、495号、496号及び500号など（主）久留米柳川線、（主）福岡東環状線、（主）筑紫野古賀線、（主）久留米筑紫野線、（一）中間水巻線など
政令指定都市（福岡市・北九州市）	政令指定都市内の指定区間外国道、県道及び市道	
各市町村	各市町村道	

※高速道路、都市高速道路、その他有料道路を除く

○福岡県の組織図（道路）



福 岡県の概要

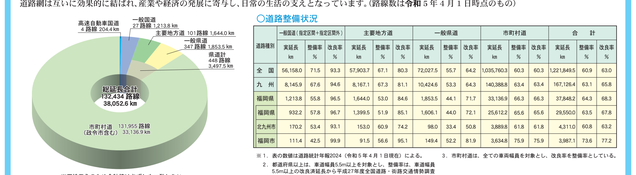
○主要指標からみた県政の地位

区分	単位	年次（実）	福岡県	全国	対全国比（%）	全国順位	資料
総面積	km²	R5	4,988	377,975	1.34%	29	総務省統計局「国勢調査の結果からみた市町村の姿」2020年版
総人口	千人	R2	5,135	126,146	4.07%	9	R2国勢調査
人口集中地区（DID）人口割合（対総人口）	%	R2	73.7	70.0	—	10	R2国勢調査
総世帯数	千世帯	R2	2,323	55,830	4.16%	9	R2国勢調査
県内総生産	億円	R4	201,872	5,864,897	—	—	内閣府経済社会総合研究所「2022 年度国民経済計算」・県調査統計課「県民経済計算」
農業産出額	億円	R5	2,096	95,579	2.20%	17	農林水産省「R5 生産農業所得統計」
製造品出荷額等	億円	R2	89,519	3,020,033	2.96%	10	総務省・経済産業省「令和元年経済センサス-活動調査」
年間商品販売額	億円	R2	214,407	5,226,458	4.10%	4	総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」
就業者数	千人	R2	2,547	65,468	3.89%	9	R2国勢調査（不詳補完値）
都市公園面積	ha	R5	4,847	130,870	3.70%	—	国土交通省「R05.末都市公園等整備状況調査」

道 路現況

福岡県には、九州縦貫自動車道などの高速自動車国道4路線をはじめ、一般国道27路線、県道448路線、市町村道131,955路線（政令市を含む）があり、これらの道路網は互いに効果的に結ばれ、産業や経済の発展に寄与し、日常の生活の支えとなっています。（路線数は**令和**5年4月1日時点のもの）

○道路整備状況

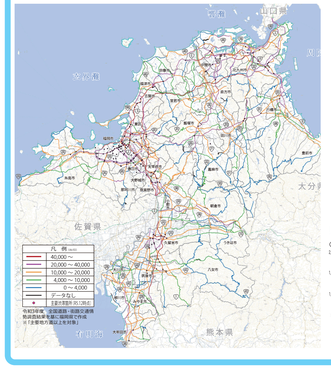

高速自動車国道 4路線 224.4km
一般国道 27路線 1,213.8km
主要地方道 101路線 1,644.0km
一般県道 347路線 1,853.5km
県道計 448路線 3,497.5km
総延長約 122,434 路線 38,052.6 km
市町村道 131,955路線（政令市含む） 33,136.9 km
高速道路
一般国道（指定区間）
主要地方道
一般県道
市町村道
道路種別 / 整備率 / 改良率 / 実延長 / 整備率 / 改良率 / 実延長 / 整備率 / 改良率 / 実延長 / 整備率 / 改良率 / 実延長 / 整備率 / 改良率
全国 56,158.0 71.5 93.3 57,903.7 67.1 80.3 72,027.5 55.7 64.2 1,035,760.3 60.3 60.3 1,221,849.5 60.9 63.0
九州 8,145.9 67.6 94.6 8,167.1 67.3 81.1 10,424.6 53.3 64.3 140,388.8 63.4 63.4 167,125.4 63.1 63.6
福岡県 1,213.8 55.8 96.5 1,644.0 53.0 84.6 1,853.5 44.1 71.7 33,136.9 66.3 66.3 37,848.2 64.3 68.3
福岡県 932.2 57.8 96.7 1,399.5 51.9 85.1 1,606.1 44.0 72.1 25,612.2 65.6 65.6 29,550.0 63.5 67.8
北九州市 170.2 53.4 93.1 153.0 60.9 74.2 98.0 33.4 50.8 3,888.8 61.8 61.8 4,311.0 60.8 63.2
福岡市 111.4 42.5 99.9 91.5 56.6 95.1 149.4 52.2 81.9 3,634.8 75.9 75.9 3,987.1 73.6 77.2

※1．表の数値は道路統計年報2024（令和5年4月1日現在）による。
2．都道府県は上段は、車道幅員5.5m以上を対象とし、整備率は、車道幅員5.5m以上の改良済延長から平成7年度全道調査・自動交通情報調査及び令和2年度に行う交通調査基本区間交通量データを基に算出した道路延（以上）の延長を整所して算出したものである。
3．市町村道は、全ての車両幅員を対象とし、改良率を整備率としている。

※四捷五入のため合計値はぴったも一致しない

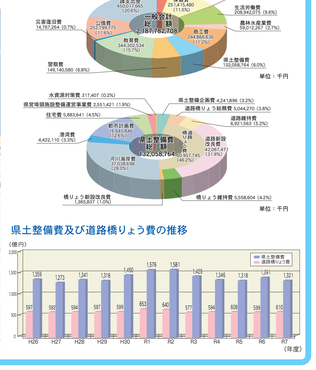
交 通現況

都市とその周辺部に自動車は集中しています。特に、国道3号、10号などの幹線道路を中心に、福岡、北九州、久留米の各市内及び流入部付近での混雑は、著しいものがあります。



道 路に関する予算

令和7年度 当初予算



県土整備費及び道路橋りょう費の推移

福 岡県の道路整備の基本的な考え方

福岡県の体系的な道路整備

福岡県では、「持続可能な経済成長への貢献」、「安全・安心な生活の確保」の２つを柱とした道路施策の体系を構築し、計画的・重点的に道路整備に取り組みます。

1. 持続可能な経済成長への貢献
- （1）物流を支え企業誘致を促進する戦略的な整備
  - 自動車産業や半導体関連産業を始めとする企業の誘致促進に繋がる道路整備、広域的な物流交通を支える道路整備（産業団地と高規格道路を繋ぐ道路整備、高規格道路間の連結、IC・スマートIC・港湾・空港へのアクセス強化、重要物流道路や物流交通の多い幹線道路の整備等）
- （2）環境や自然に配慮した整備
  - 交通の円滑化を図る道路整備、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブへ貢献する道路整備、環境に配慮した建設資材や建設機械の活用（洗浄対策、バイパス整備、立体交差化、道路緑化・グリーンインフラ等）
- （3）新たな価値の創出や地域振興を促す整備
  - 観光地へのアクセス向上を支援する道路整備、地域の生活を支える道路整備、県境地域の振興に資する道路整備（道路拡幅、線形改良等）

2. 安全・安心な生活の確保
- （1）防災・減災、地域強靭化
  - 災害から県民の命を守る道路整備（緊急輸送道路等の整備、法面・盛土の土砂災害防止対策、橋梁の耐震対策、道の駅防災機能強化、無電柱化等）
- （2）持続可能なインフラメンテナンス
  - 橋梁、トンネル、舗装、道路附属物等の計画的な維持管理と更新、3次元点群データ等の新技術の活用による効率的な維持管理
- （3）安全で快適な道路空間の確保
  - 道路利用者の安全や利便性向上に資する道路整備、既存空間の活用（通学路整備、交通事故対策、自転車通行空間の整備、バリアフリー化、道の駅整備、道路緑化、無電柱化等）

新 広域道路交通計画

位置づけ

新広域道路交通計画は、中長期的（20～30年）な視点で、広域的な都市間や主要な物流拠点（空港、港湾等）を結ぶ広域的な道路ネットワークの形成や道路の段階優化、ICT・自動運転等の技術進展を見据えた、今後の道路整備・管理や道路交通マネジメント等の基本となるものです。

基本方針

「平常時・災害時」を問わない物流・人流の確保や活性化を図る、道路ネットワーク整備、交通・防災拠点整備、交通マネジメントを行います。

内容

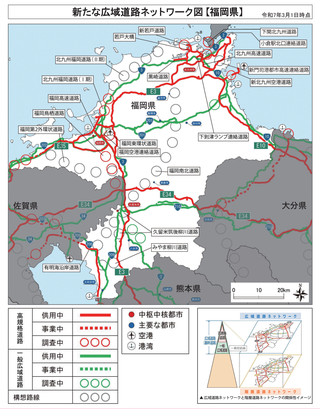
①広域道路ネットワーク計画
・都市間等や広域交通の拠点となる港湾・空港等を連結するネットワークの形成を図ります。
②交通・防災拠点計画
・幹域における中心的な役割を担う主要鉄道駅等の交通拠点について、交通結節点の整備促進を図ります。
③ＩＣＴ交通マネジメント計画
・ＩＣＴ等の革新的な技術を活用した交通マネジメントの検討を行います。

広域道路

広域道路は広域的な都市間交通や主要な物流拠点・観光地等に安定的な物流・人流を確保・活性化を促す道路で、高規格道路及び一般広域道路からなる基幹道路

- **高規格道路**
  - ①ブロック都市圏間を連結する道路
  - ②ブロック都市圏内の拠点連結や中心都市を環状に連結する道路
  - ③上記道路と重要な空港・港湾を連結する道路
  - サービス速度が概ね60km/h以上
  - →高規格幹線道路、地域高規格道路
- **一般広域道路**
  - ①広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連結する道路
  - ②高規格道路を上記道路と重要な空港・港湾等を連結する道路
  - サービス速度が概ね40km/h以上
  - →直轄国道等（北九州市管理の国道3号含む）
- **構想路線**
  - 「高規格道路」、「一般広域道路」と併せ広域的な道路ネットワークの機能強化を図る為に必要と考えられる道路

新たな広域道路ネットワーク図【福岡県】



主 要道路事業

（令和7年4月末時点）

■補助国道事業

県管理の一般国道においては、直轄国道を補完し広域的な交流を促進し、地域振興に資する重要路線として、現在下記の路線の整備を進めています。

（令和7年4月末時点）

路線番号	路線名	箇所名	延長（km）	計画幅員（m）	備考
322号	春春大任バイパス（4車線化）	春春町～大任町	13.0	21.5～23.5	R2～
	嘉麻バイパス	嘉麻市	2.7	10.0	H23～
	甘木バイパス	朝倉市	1.6	15.0	H29～
	第２大刀洗バイパス	大刀洗町	2.6	11.5～15.0	H27～
	持丸改良	朝倉市	1.1	11.0	R3～
385号	北茅野バイパス	那珂川市	1.0	22.0	H26～
	南畑バイパス	那珂川市	2.8	8.0～10.5	R2～
	黒木バイパス	八女市	2.1	11.5	H25～
442号	大崎改良	八女市	0.6	10.0	R2～
	大木大川バイパス（4車線化）	大木町～大川市	6.7	25.0	R3～
443号	三橋道高バイパス（4車線化）	柳川市～みやま市	1.8	23.5	H28～
	柳川バイパス	柳川市	1.8	16.0	H29～
500号	小石原改良２工区	東峰村	0.6	7.0	R6～

■直轄国道事業

国土交通省管理の県内の一般国道においては、地域の広域幹線道路網を形成する重要路線として、現在下記の路線の整備が進められています。

主な事業計画概要（直轄国道）

（令和7年4月末時点）

	路線名	箇所名	延長（km）	計画幅員（m）	備考
3号	黒崎バイパス	北九州市	5.8	17.5	H3～
	鳥栖久留米道路	鳥栖市～久留米市	4.5	21.75	H19～
	苅田バイパス（下目井～空港口）	福岡市	1.6	35.5/32.0	R4～
	広田八女バイパス	広川町～八女市	11.4	15.0	R5～
	八木山バイパス（4車線化）	福岡市～飯塚市	13.3	16.25	R1～
201号	春香拡幅	春春町	2.1	23.25	H20～
	仲哀拡幅	春春町～みやこ町	2.2	9.2(シネル部)	R4～
	みやこ仲津バイパス	みやこ町～行橋市	7.4	26.25～	R7～
	有明海沿岸道路（大牟田～大川）	大牟田市～大川市	27.5	20.5	S63～
208号	大川佐賀道路	大川市～佐賀市	9.0	20.5	H13～
210号	浮羽バイパス	久留米市～うきは市	14.0	19.0、28.0	S48～
202号 497号	今宿道路	福岡市～糸島市	23.3	16.25～47.5	S45～

■県道事業

国道網を補完するとともに、生活基盤の確保や地域の活性化を図る上で重要な路線として整備しています。

主な事業計画概要（県道）

（令和7年4月末時点）

路線番号	路線名	所在地	延長（km）	計画幅員（m）	備考
14	（主）九州自動車道	大刀洗町、朝倉市	1.7	10.5～11.0	H27～
16	（主）大牟田川御幸線	柳川市、大川市	4.7	10.0～11.0	H29～
22	（主）田川直方線	田川市、大任町、福智町	4.7	10.0～17.0	H24～
23	（主）久留米柳川線	久留米市、大木町、柳川市	7.6	13.0～15.0	H21～
24	（主）福岡東環状線	粕屋町	1.7	32.0	H21～
27	（主）門司行橋線	行橋市	0.8	11.0	H23～
27	（主）直方芦屋線	芦屋町、直方市	0.3	15.0	H24～
30	（主）飯塚福間線	宮若市	3.6	11.0～11.5	H22～
35	（主）筑紫野古賀線	太宰府市、宇美町、須恵町	7.5	23.3～25.0	H18～
52	（主）八女春春線	八女市、うきは市、朝倉市、東峰村	3.3	6.0～10.5	H29～
53	（主）久留米筑紫野線	久留米市、大刀洗町、筑紫野市、筑紫野市	8.2	10.0～23.25	H26～
72	（主）前原富士線	糸島市	1.1	7.5	H28～
80	（主）飯塚大野城線	宇美町、大野城市	0.8	27.0	H26～
84	（主）三潴上陽線	筑後市、広川町	1.2	12.0	R5～
89	（主）新高久留米線	久留米市	2.5	15.0～23.0	R2～
203	（一）中間水巻線	中間市、遠賀町、水巻町	4.6	11.0～14.5	H26～
472	（一）直方鞍手線	直方市、鞍手町	1.8	11.25～13.5	H26～
478	（一）飯塚穂波線	飯塚市	1.7	10.5	H28～

＊上記路線は、現在事業中の箇所から抜粋したものです。

■市町村道事業

市町村道は日常生活を支える最も身近な「みち」であるとともに、国道、県道を補完して地域の道路の一体化を図るためにもなくてはならない道路です。

各市町村においては、「安全・安心の確保」、「豊かで利便性の高い地域社会の実現」等の様々な地域の課題に対応するために、道路整備が進められています。

主な事業計画概要（市町村道）

路線名・箇所名	箇所名	延長（m）	幅員（m）	着手年度	道要
高郷恵比須線 高郷橋	糸島市	23.1	4.6	R2	橋梁補修
古賀東小学校地区	古賀市	—	—	R3	交通安全（ハンプ）
西鉄柳川通線	柳川市	400	—	R4	無電柱化
立岩・上三緒線	飯塚市	530	9.7	R2	道路改築

道 路の維持管理

県下の一般国道並びに県道のうち国土交通省、西日本高速道路株式会社、福岡・北九州両政令指定都市及び道路公社が管理する道路を除いた一般国道 13 路線 522.4km 並びに県道 387 路線 3,005.6km の合計 400 路線 3,528km（自転車道４路線除く）を管理しています。道路管理者として、道路利用者が安心して利用できるよう道路を常に良好な状態に保つよう努めるとともに、道路の安全確保のため、適切に道路施設の維持管理を行っています。（延長及び路線数は全て令和５年４月１日現在のもの）

● 道路のパトロール

県下11県土整備事務所に巡視班（41班）を配置し、パトロールカーで管内の管理道路を巡視し、道路の欠陥箇所、破損箇所の早期発見に努めるとともに、道路利用者に危険を知らせるため応急的な標識の設置ならびにポットホールのパッチング等の応急措置を行っています。また、維持業務班（15班）と連携を図り、舗装路面及び道路施設の小規模な維持補修を行い、常に良好な道路機能の保持に努めています。

● 橋梁の計画的な補修

福岡県が管理する橋梁 1,360 橋（15m 以上）のうち、建設後 50 年を経過する橋梁は、約 20%ですが、20 年後には約 60%となり、高齢化が一斉に進むこととなります。そこで、従来の事後的な修繕・架け替えから、定期点検結果を基にした予防的な修繕及び計画的な架け替えへと移行し、橋梁の長寿命化並びに対策に係る費用の削減に取り組んでいます。

橋梁定期点検の状況

● 道路の防災対策

災害を未然に防止するため、法面の崩壊・落石等の災害のおそれがある箇所について、道路利用者が安心して利用できるように道路防災対策を推進する。

主要地方道 筑紫野三輪線（朝倉郡筑前町）

● 道路の日常的な維持管理

日常巡視や定期点検の結果を基に維持・修繕工事を実施しています。
- 車両や歩行者の安全な通行を妨げている雑草の草刈
- 積雪時や路面凍結時の雪氷対策
- 破損・老朽化した舗装やガードレールなどの修繕
- 路面の排水を適切に行うための側溝の整備

安全な通行を妨げている雑草の草刈　積雪時の雪氷対策

道路上の清掃　歩道端部の清掃

● さわやか道路美化促進事業

福岡県では、道路愛護のボランティア活動を支援しています。県が管理する国・県道において道路の清掃、美化運動を自主的に行っていただき、県民の道路を大切にする意識の高揚やマナー向上を図るものです。実施団体への支援として、清掃用具、軍手、ゴミ袋などの支給、傷害・損害賠償責任保険への加入等を行っています。

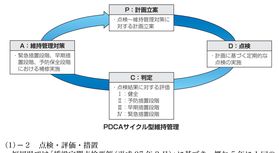
橋 梁の老朽化対策における基本方針

本県は、令和６年度末時点で４,927 橋の道路橋を管理しています。これらの橋梁は一時期に集中して建設されたため橋齢分布に偏りがあり、将来、老朽化対策（修繕・更新）を集中的に施す必要があり、多額の財政負担を強いられる懸念があります。対策費用の不足は、交通規制による社会的損失に直結することから、その費用の平準化を目指し、（１）及び（２）を組み合わせた「戦略的な維持管理」を推進します。

（１）定期的な点検と適切なタイミングでの修繕による低コストでの長寿命化

（１）－１　基本的な考え方

将来にわたって橋梁を安全に利用していくため、計画立案・点検・判定・維持管理対策といったメンテナンスサイクルを実施しながら予防的な維持管理を行います。



（１）－２　点検・評価・措置

福岡県では「橋梁定期点検要領（平成２７年３月）」に基づき、概ね５年に１回の頻度で橋梁の定期点検を実施しています。

点検を行う施設は、橋高２ｍ以上の道路等の健全性に応じ４段階（Ⅰ～Ⅳ）で区分し、区分に応じ適切に措置を講じます。

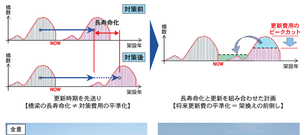
評価区分

判定区分	状態
Ⅰ 健全	橋梁の機能に支障がでていない状態であり、監視や対策を行う必要のない状態をいう。
Ⅱ 予防保全段階	橋梁の機能に支障がでていないが、予防保全の観点から状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう。
Ⅲ 早期措置段階	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう。
Ⅳ 緊急措置段階	橋梁の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に対策を行う必要がある状態をいう。

（２）計画的更新を推進し、年間更新費及び橋齢分布を平準化

定期的な点検による損傷の早期発見及び損傷が顕在化する前に措置をとる予防保全を行うことで橋梁の長寿命化を図りますしかし、橋梁は永久構造物ではないため、長寿命化を図っても橋齢分布を先送りするだけであり、いずれは架換え対応をしなければなりません。

そこで、損傷事例の多い構造を有している橋梁や同用の基準を満足していない橋梁などについては、判定区分にかかわらず計画的な架換えを実施することで、年間更新費及び橋齢分布の平準化を図ります。



【橋梁の長寿命化 ＝ 対策費用の平準化】　【将来更新費の平準化 ＝ 架換えの前倒し】

主要地方道 北九州戸畑線 御牧大橋（諸賀前通賀町・水巻町）

主要地方道 直方芦屋線 西紙屋橋（芦屋町）

高 規格幹線道路等

■高規格幹線道路及び都市高速道路

■県内の有料道路

（令和7年4月末時点）

路線名	区間	延長	車線数	料金（普通車）
（一般国道2号）関門トンネル	山口県下関市綾羅木工事～福岡県北九州市門司区東門司一丁目	3.9km	2車線	160
（一般国道201号）八木山バイパス	糟屋郡篠栗町篠栗～飯塚市弁分	13.3km	2～4車線	280
福岡高速道路	1号線 東区箱崎ヶ丘二丁目～西区福重三丁目	18.0km	4～6車線	630
	2号線 博多区千代六丁目～大字荒戸市水城二丁目	13.2km		
	3号線 博多区東光二丁目～博多区雷二丁目	0.6km		
	4号線 東区箱崎4-5丁目～東区須恵三丁目	6.9km		
	5号線 博多区西月隈四丁目～西区福重三丁目	18.1km		
	6号線 東区香椎浜一丁目～東区みなと香椎一丁目	2.5km		
	3号線（交通量調査） 博多区雷二丁目～博多区大字下臼井	1.8km	4車線	事業中
北九州高速道路	1号線 小倉南区長野二丁目～小倉北区下到津一丁目	9.2km	4～6車線	520
	2号線 小倉北区浜町東町～戸畑区大字戸畑	4.3km		
	3号線 小倉北区菜園場一丁目～小倉北区東港一丁目	1.8km		
	4号線 門司区春日町～八幡西区茶屋の原二丁目	31.8km		
	5号線 戸畑区牧山海岸～八幡東区枅山町	5.1km		
	6号線（交通量調査） 戸畑区大字戸畑～戸畑区牧山海岸	2.5km	4車線	事業中
西九州自動車道 福岡前原道路	福岡市西区拾六町一丁目～糸島市東	14.2km	4車線	370
（一般国道202号）三瀦トンネル	福岡市甲良区大字南潤～佐賀県佐賀市三瀦村大字三瀦	5.3km	2車線	320

※高規格幹線道路を除く

西日本高速道路株式会社　福岡北九州高速道路公社　その他

福岡高速道路3号線（福岡市）　西九州自動車道（糸島市）　東九州自動車道（みやこ町、築上町）

自 転車道

県では安全な自転車交通を確保し、あわせて自転車の利用による心身の健全な発達に資することを目的とし、自転車道の整備を進めています。

路線番号	名称	箇所名	延長※1（km）	幅員※2（m）	現況	広域サイクリングルート※3
301	（一）遠賀宗像自転車道線	遠賀町～宗像市	32.5	3.0～4.0	供用中	唐津・宗像・北筑前ルート
302	（一）直方北九州自転車道線	直方市～戸畑区	25.1	3.0～4.0	供用中	唐津・宗像・北筑前ルート
474	（一）飯塚直方自転車道線	飯塚市～直方市	12.8	4.0	供用中	筑豊周遊ルート
806	（一）吉井久留米自転車道線	うきは市～久留米市	27.4	3.0～4.0	供用中	久留米・うきは周遊ルート

※1 延長には一般道などの利用区間を含む　※2 「第2次福岡県自転車活用推進計画」における広域サイクリングルート　※3 自転車道路の幅員

（一）遠賀宗像自転車道線

（一）直方北九州自転車道線

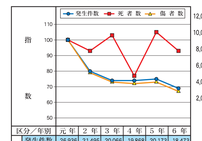
（一）飯塚直方自転車道線

（一）吉井久留米自転車道線

交 通安全事業

通学路、交通事故が多発している道路、バリアフリー重点整備地区内の道路などについて、道路交通環境の整備を進めています。

福岡県の交通事故の推移



区分／年別		元年	2年	3年	4年	5年	6年
総数	発生件数	26,936	21,495	20,066	19,868	20,173	18,473
	指数	100	80	74	74	75	69
	死者数	98